



おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A。南カリフォルニア倫理の会 6月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504 Fax: (310) 323-6737

2014年(平成26年) 6月1日(日)

NO. 154

倫理研究所U.S.Aの皆様へ

専任講師 相馬紀子

この度の出張では大変お世話になりありがとうございます。話になりありがとうございます。

皆様の温かい真心をたくさんたくさん感じて帰りました。

今(四月二十日)山形は桜が満開です。庭の山野草も

次々と芽を出し可憐な花を咲かせております。巡りゆく季節の中でいつも大切にしたい

のは人を思いやる優しさと真心。

皆さんとお会いしその心地よさをじんわり味わせて頂きました。初めて一人での海外出張がロスアンゼルスで本当に良かったと思いました。

そして皆さんがアメリカという国を誇りに思っ活動している事が強く印象に残りました。遠く離れたアメリカで皆さんが一丸となって倫理を普及し明るく元気に生き生きと活動する様子を見て感動しました。

『楽しく嬉しくて思わずにはおれない倫理運動』

それにはまず皆さんお一人お一人が嬉しくて楽しくて、ワクワクドキドキしながらやっていたらその事が見えない

空気が伝わっていくようにアメリカ全土に伝わっていくのです。

皆さん!ワクワクしましょう。ドキドキしましょう。

そして爽やかな倫理の風をアメリカ各地に吹き渡らせましょう!

みなさんと過ごした数日を思い出しながらいい出逢いに感謝です。そしてみなさんとまたお会いできたらとても嬉しいです。

春のほがい

五月四日(日)朝の集いで春のほがいを祝いました。

五月五日は倫理研究所創始者丸山敏雄先生のお誕生日です。その日を「春のほがい」としてお祝いするのには特別の意味があります。

誕生日は両親やお世話になった人達へのご恩を思い、感謝の念を新たにする日である。と、橋勝雄会長が「春のほがい」を説明する文章を読みました。

会員の門園美枝子さんは

明治二十五年五月五日の丸山敏雄先生のお誕生日が自分の父親の誕生日と同じであることから倫理との縁を思い、お父さんが従業員にしてきた

のに習って、毎年、会員にかしわ餅を配る実践をしておられます。今年もつややかな美味しいかしわ餅を皆で頂きました。

創始者・丸山敏雄

福岡県豊前市生まれ。広島高等師範学校を卒業し、師範学校などの教諭として奉職。

三十七歳で広島文理科大学に入学。日本の精神文化、歴史を探究するとともに、書道や

短歌など芸術分野でも研鑽を積む。長年にわたる宗教や道徳などの研究を土台に、自ら

の実践、体験を積み上げながら、「人間生活のすじみち」

を研究し続け、それを純粹倫理として体系づける。一九四

五年(昭和二十年)に倫理運動を興し、「新世文化研究所」(現倫理研究所)を創

立。自ら陣頭に立ち、一人でも多くの人に純粹倫理を伝えるべく、教育や講演、執筆に

身命を賭す。『万人幸福の葉』『純粹倫理原論』『人類の朝光』など著書多数。

実践報告

二班 藤間富士子

文化講演会が近づいたある日、カレーハウスへ食事に行きました。カウンターを見る

とろろいろなパンフレットが置いてあります。会員の飯田さんの提案通りに三つ折りにしたフライヤーをたくさんバッグにいれていたの、早速マネジャーさんに「置かして頂いていいですか」とお聞きしたところ「いいですよ」とのご返事です。良い時に講演会のお知らせが出来ました。迷わず即行すれば良い結果が得る体験を致しました。

二班 ホン史子

私の町は日本人が少ないのですが日系マーケットがあります。講演会のフライヤーを貼りに行く決心をして出かけました。レジで女性二人が日本語を話しています。早速バッグから三つ折りにしたフライヤーを出し、お誘いしました。

会場は遠いのですが、来る、来ないはあちらが決めること、私はお誘いが役目なので快くフライヤーを受け取ってもらいました。その後、日系マーケット、ビデオ屋にフライヤーを貼らせてもらいました。決意して行動すると順調に行くことを体験しました。

おめでとうございませす

『しきなみ』五月号

群螢集（西東京・海外）

三席 松永典子

黒あげは秋の陽うけてポツポツと歩む男を越して行くなり

南向き階段トツトツ降りてゆく男を包む秋の陽温し

【評】ポツポツとトツトツと歩きゆく男：どなたでしょうか。「黒あげは」「南向き階段」。映画を見てるような気のする二首で、魅力的です。（選者 加藤宏子）

おめでとうございませす

『秋津書道』五月号

競書

入選 滝川政和

芸術部

（碧の部）

三席 咲田静子

高等部

（東京）

九席 梅本豊造

々

々

入選 堀井幸江

々

々

五席 脇山由希

一般部

（東京） 行書

入選 枘中恵美子

々

々

六席 竹内康子

一般部

（東京） 楷書

九席 ノーリスてるみ

々

々

入選 小倉治望

々

々

入選 高橋ひとみ

々

々

入選 大竹信雄

々

々

調和体

四席 滝川政和

芸術部

（碧の部）



3席 咲田 静子

勢いがある筆を巧みに遣った好作品。



6席 竹内 康子



9席 ノーリスてるみ

オフィスの展示作品は時々入れ替えています。ゆっくりご鑑賞下さい。

しきなみ短歌

夜の間に降りし春雨芝も木も水を含みて 冴え返る緑
ホン史子

リハビリの老女の履いてくるくつピンク春は来たりと心逸りぬ 松永典子
気になればミニ掃除機を持ち出して鼻歌まじりで気持ちもスッキリ 草野律子
コヨーテと目と目が合って凍りつき我は木となり無色となりぬ 摺木洋子
早朝の湿った草に陽が射してかすかに昇る湯気の立ちたり 松元依子
病室の時計を幾度も見る夫術後の時間が進まぬと言う 滝川歌子
窓ゆ見る今宵の満月東方より澄みわたる空をゆつくり昇る 奥本洋子
今日よりは八十路の坂を登りゆくいそがずたゆまず明日へと生きる 杉野和子
障害のある子の親が手をつなぎ手作りアートのミラクルキッズ 長谷川公子
根か種か山火事に耐えた丘々に命芽吹きて菜の花続く 塩出笑子
車内での祖父母交えたしりとりにゲームの手を止め子等も加わる 伊澤潤子
早いもの妻と暮して三十五年互いにねざらい二人で乾杯 飯田隆
看護婦はバンパイア墓地へようこそと赤血球多い吾の血を抜くも 梅本豊造
蘇える朝日をあびて藤の花よべの嵐にうちしおれしが 門園美枝子
宝物と呼べる吾が祖母九十五歳気丈な声を受話器より聴く 矢口裕司